

# 次世代モビリティセンター埼玉シンポジウム

自動車産業のさらなる発展を目指して

開催日時：令和8年3月3日（火）13:30～17:00

参加費：無料

開催会場：新都心ビジネス交流プラザ 4階会議室A・B 定員：70名

自動車産業の更なる発展のため、専門家による最新のEV市場動向等の講演や公社の自動車産業支援内容を紹介するシンポジウムを開催いたします。

基調講演1(13:35～14:30)

## 「内燃機関復権か

～EV推進を見直す欧州・アメリカのゆくえをクルマの専門家はどう見る？～

KPMGコンサルティング株式会社 プリンシパル 轟木 光氏

基調講演2(14:30～15:10)

## 「変革期と複雑化するビジネス環境に対するマレリの取り組み」

マレリ株式会社

グリーンテクノロジーズ プロダクトマネジメント部 部長 芦田 雅明氏

基調講演3(15:10～15:15)

## 「技術情報の流出防止について」

埼玉県警察本部外事課

公社実績報告(15:25～16:15)

・電動化に伴う事業変革計画策定支援

・カーボンニュートラル導入支援

・現場改善研究会<トヨタ生産方式>成果発表

・デジタルものづくり改善研究会 成果発表

・R8年度 次世代モビリティセンター埼玉の事業計画

懇親会(16:15～17:00)

お申し込みはこちら

主催：（公財）埼玉県産業振興公社

<問い合わせ先>

（公財）埼玉県産業振興公社

技術開発支援グループ

〒338-0001

さいたま市中央区上落合2-3-2

新都心ビジネス交流プラザ

TEL048-711-6870

E-MAIL [jidosha@saitama-j.or.jp](mailto:jidosha@saitama-j.or.jp)



## 基調講演 概要

### 内燃機関復権か

～EV推進を見直す欧州・アメリカのゆくえをクルマの専門家はどう見る？～

ESG関連規制はEU主導から多極化へ移行している。

EU・米・中・ASEANの政策・市場動向・ユーザーを比較し、2026～30年の影響を整理する。

日本企業がとるべきは、地域別の勝ち筋を東ねる「グローカル設計」である。

今すぐ着手できる優先課題を説明し今後の将来動向を探る。

### 変革期と複雑化するビジネス環境に対するマレリの取り組み

・マレリのSustainabilityへの取組み概要

・排気製品分野での取組み紹介

・Green Technologiesにおける取組み概要  
(製品、モノ造り等)マレリサステナビリティレポートで開示した内容を軸にカーボンニュートラル実現に向けたGreen Technologies事業部での取組みを紹介します。

・製品分野では卓越した軽量化を実現した“LeanExhaust System”的概要、モノ造り分野では工場での革新的な改善活動を具体事例としてお話させて頂きます。

### 技術情報の流出防止について

警察では経済安全保障の一環で技術情報流出の未然防止のための活動を行っています。今回は過去に技術が流出・狙われた事例等をご説明いたします。